



楽々除雪

雪国の住み良い  
生活環境をめざして

真室川地区消流雪用水導入事業





# 真室川町の概要



## 歴史



鮭延城跡「当地がうんだ、戦国時代の英雄・鮭延越前守秀綱の居城」

明治4年の廃藩置県後新庄県となり、町村制施行の際は内町、木の下、新町、平岡、川の内内の各村を併せて真室川村とし、大沢、差首鍋、平枝の3村を併せて大沢村とし、明治22年に安楽城村と改めました。及位、大滝、釜淵の3ヶ村が明治22年に合併し、及位村としました。

昭和25年4月1日には真室川町に町政が施行され、昭和31年9月30日、これら1町2村が合併し、真室川町が誕生しました。



## 位置・地勢

山形県の最北端に位置し、町の総面積374平方キロメートルを超える広大な町で、その85%が山林で形成されています。

東西と北側の三方が山地で、その間を鮭川と支川真室川・金山川が流れ、南は盆地へと開けています。

農林業、製造業を主な産業とし、世帯数約2,900世帯、人口約12,000人の町です。



紅葉の山々と鳥海山

## 気候

真室川町は、周囲の山岳の影響を受けて変わりやすい現象を示し、平均年間気温は10.2℃、平均年間降水量は2,861mmに及んでいます。また積雪期間は12月中旬から4月上旬までの長期にわたっており、近年(S58~H9)における降雪状況は、最大積雪深231cm、年間降雪深1,156cmを記録するほどの豪雪地帯で、昭和46年に町全体が豪雪地帯特別措置法に基づき、指定されました。当地において除雪作業は冬期間の生活に労力・時間といった負担が多のしかかっています。



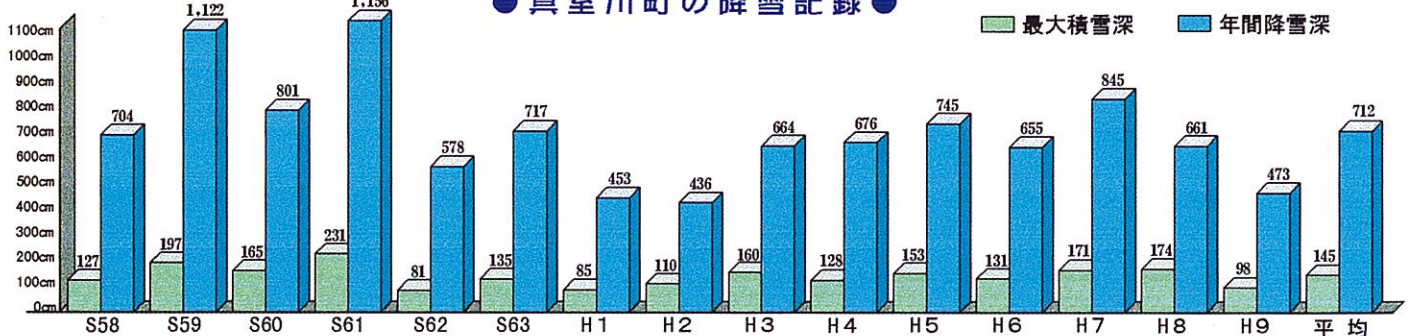
これで4回目の雪おろし



電話ボックスも雪にうもれる

### ● 真室川町の降雪記録 ●

■ 最大積雪深 ■ 年間降雪深







# 消流雪用水導入事業のあゆみ

我が国の国土の50%が豪雪地帯であり、当真室川町も一夜に数十センチの降雪は珍しくなく、人や車の通行に支障をきたしたり、一日中除雪作業を強いられるなど、長年にわたり雪の処理に苦労してきました。

このため、町や県では市街地を中心に流雪溝の整備を進めてきましたが、雪を流すために必要な水量の確保が困難な状況でした。そのような中で冬期間において金山川からの導水が望まれていました。

このようなことから導水路等の整備を実施したのが「消流雪用水導入事業」です。

消流雪用水は、金山町上台地内の金山川から取水し、真室川町新町地内の堂前川に合流する延長6.5kmの導水路を「神ヶ沢川」と決めました。

事業は、平成3年度に調査を始め、平成5年度から工事に着手し、平成11年度に完成しました。

消流雪用水の最大取水量は毎秒2立方メートルで、12月から翌年の3月までの冬期間に取水を行ない、市街地の流雪溝に分流しています。河川延長6.5kmのうち、地形条件によって、道路や鉄道の下を流下しているところがあります。また、総合運動公園の中では公園の一部として、水にも親しめる河川となっています。



## 【主な工事の履歴】

施設名(数量)	施工年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度
導水路(6.5km)		0.2km		1.0km	1.2km	3.6km	0.2km	0.3km
取水樋管(1箇所)		[Bar]						
水路橋(1橋)		下部工		上部工				
伏越工(2箇所)					神ヶ沢伏越工		新町伏越工	
放流工(4箇所)					糸出沢放流工 持越放流工 橋倉放流工		大梅川放流工	
分水工(2箇所)					東町分水工		新町分水工	



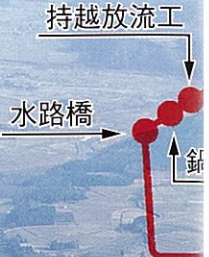


# 消流雪用水導入事業の概要

この事業  
め、導水

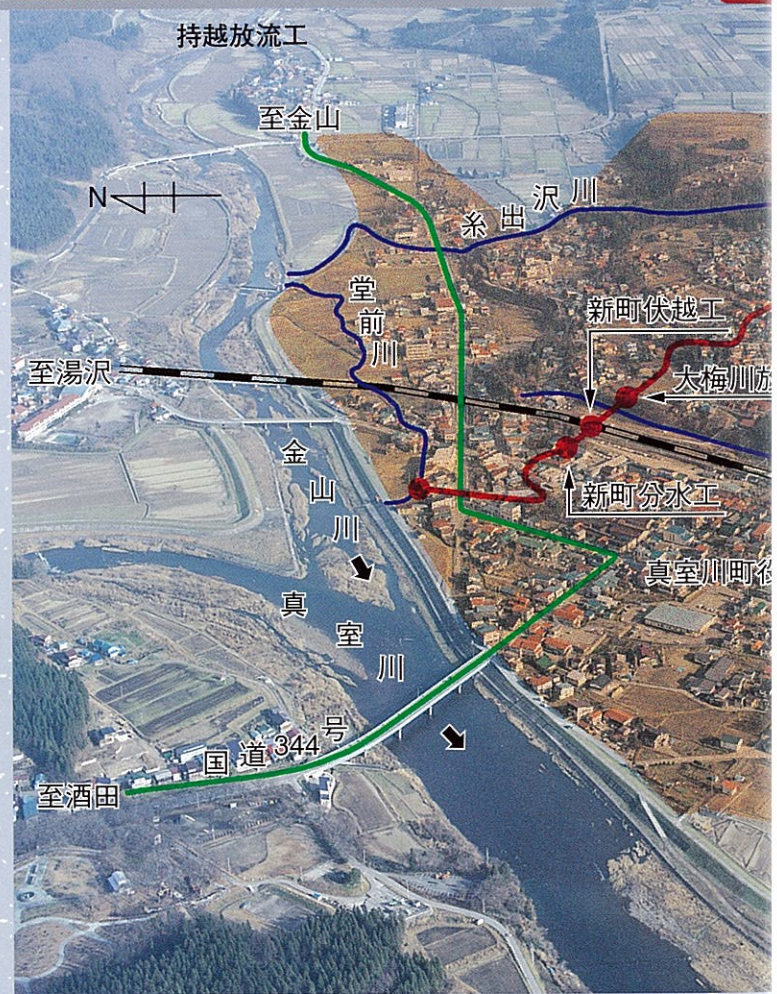
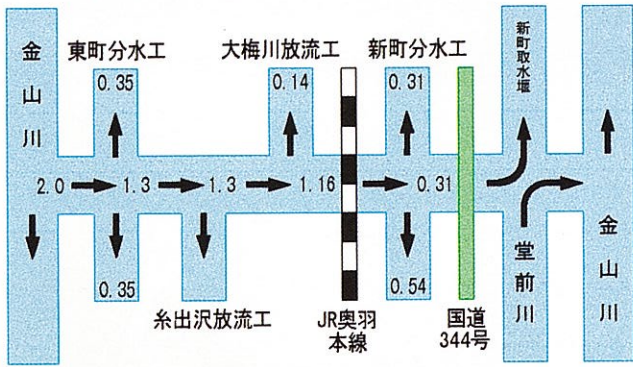
## 計画概要

対象区域：真室川町内 150ha  
 対象人口：約5,100人  
 導水路：最上郡金山町上台地内～  
 最上郡真室川町新町地内(L=6.5km)  
 取水量：最大2.0立方メートル/秒

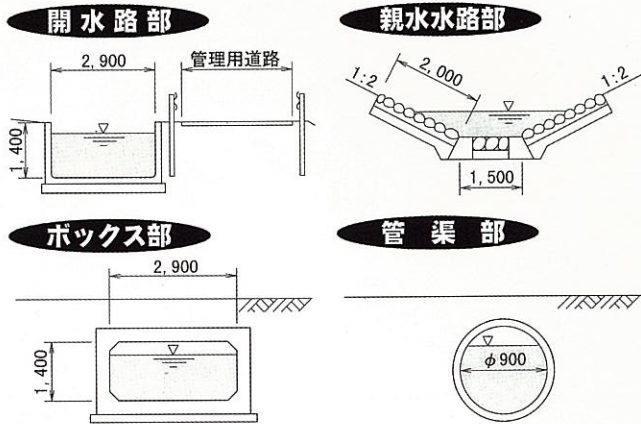


## 神ヶ沢川の流量図

(単位：立方メートル/秒)



## 導水路標準断面図

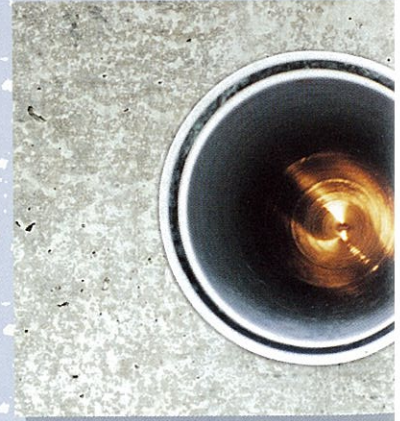


## 施設概要

導水路	6.5km
取水樋管	1ヶ所
水路橋	1橋
伏越工	2ヶ所
放流工	4ヶ所
分水工	2ヶ所



ゲート設備遠隔操作室(真室川町役場1F)



新町伏越工(JR奥羽本線)



冬期間において金山川から町内の流雪溝に消流雪用水を供給するた等の整備を行いました。



金山川取水樋管

水路橋



環境に配慮した水路(転落した小動物の脱出口)



東町分水工



糸出沢放流工



水とのふれあいの場 親水水路

断面)





# 消流雪用水導入事業の効果

この事業

## 消流雪用水導入前



道路を埋めつくした大雪



除雪機械による除雪作業



雪が降りしきる中での除雪作業



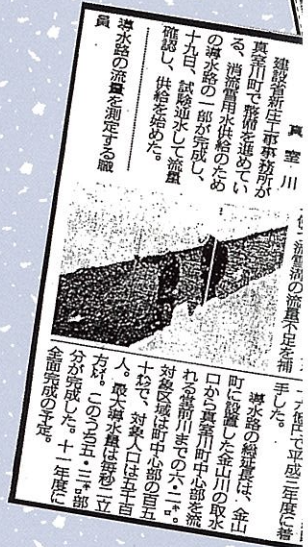
排雪場がなく両側に押し寄せられた雪壁



堆積した雪のため危険な通学路



路肩の雪で狭くなった商店街



## 消流雪用水導入事業によせて

### 通路幅も広く、通学も安心



新田 豊信さん (南町)

私達の地区は、除雪場所の確保が非常に困難な地域で、大量の積雪によって家屋や宅地の頻繁な除雪作業を強いられてきました。

私の家の前にも水路がありますが、水がなく消雪機能がありませんでした。

さる平成10年1月19日より待望の流雪溝への通水が行われ、私の家の前の水路にも水深15cm程度の水が流れてきました。

最初は、この程度の水量で大丈夫かと心配しましたが、スコップで十字桙の上から投雪してみると、ものすごくスムーズに雪が流れていきました。

今までの除雪作業からみると数段楽になりました。

また、道路幅も通水後広く感じられ、通学も例年より安心して見ていることができます。



により除雪作業が軽減され、安全な道路交通の確保に役立っています。

**消流雪用水導入後**

導水路工事  
の  
報道記事



障害もなくスムーズな通行



きれいに除雪された商店街



完成した流雪溝への投雪状況



除雪時間もぐっと短縮



完成した流雪溝への投雪状況



排雪作業もスムーズに

**待望の通水、地区民一同大喜び**



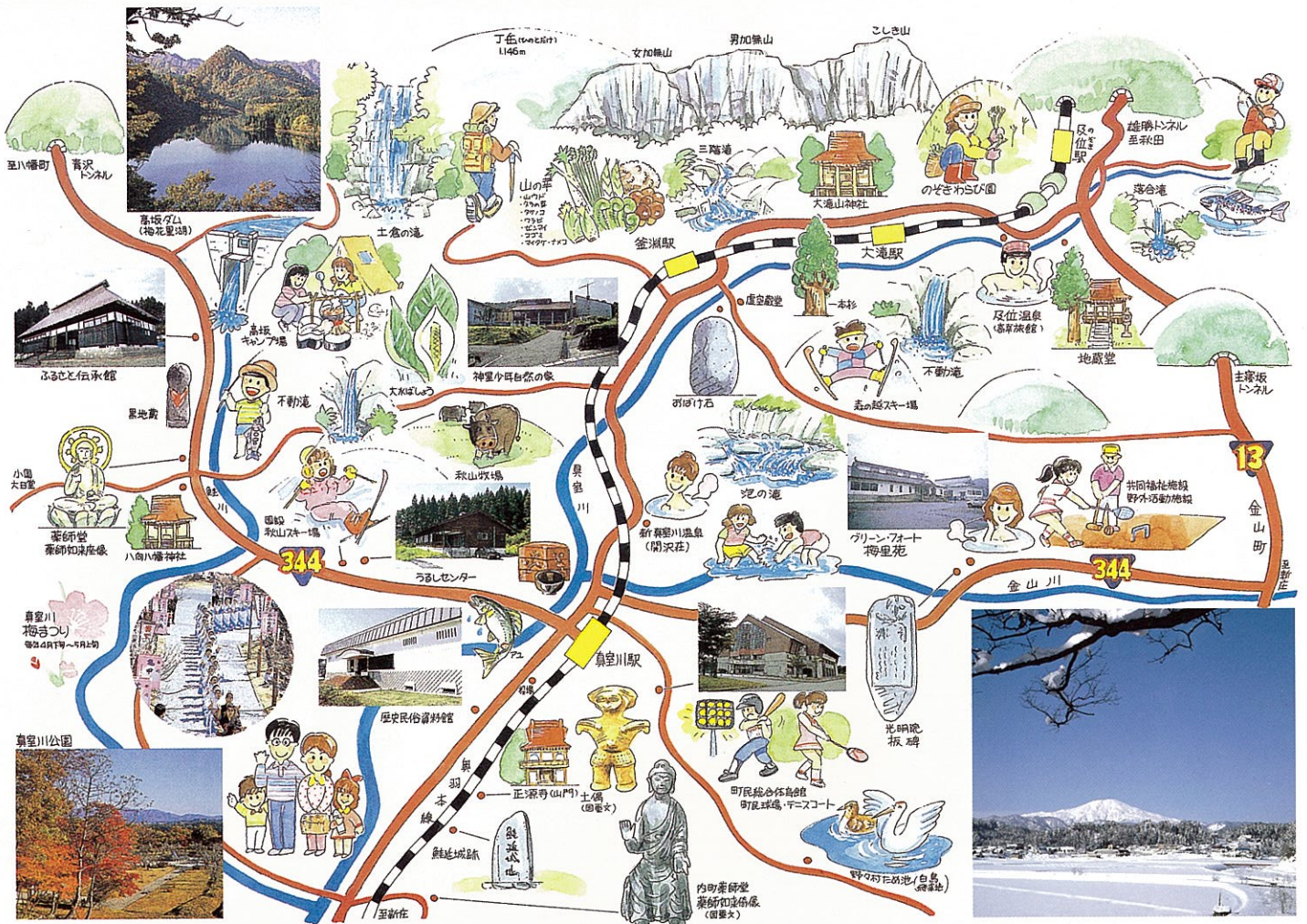
黒坂 高富さん (東町2)

私達、東町2区の流雪溝の一部に、工場の排水が少量流れているのみで投雪が行われると、下流部において流雪溝から溢れだすこともたびたびで、児童等の通学時にも支障をきたしている現状でありました。  
 導水路工事の一部完成により待望の通水が行われた結果、水量も十分であり、投雪しても途中でのトラブルもなく、スムーズに流れ、地区民一同喜んでいところす。  
 今年は例年になく少雪ではありますが、大雪になっても除雪作業にも支障なく使用できるものと思っております。





# 真室川町 梅の里マップ



梅の木 (町の木)



日本一のカツラの木 (及位地内)



梅の花 (町の花)

建設省 東北地方建設局

新庄工事事務所

〒996-0071 山形県新庄市小田島町5番55号  
TEL.0233(22)0251

鮭川出張所

〒999-5203 山形県最上郡鮭川村大字川口字鶴田野3018-4  
TEL.0233(55)3020